

滋賀県教育委員会主催「学びのメニューフェア」にブースを出展

～子どものための防災教育や金融経済教育メニューを紹介～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員 関西地区担当）では、7 月 25 日（金）に大津市のピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）で開催された「学びのメニューフェア」に支援団体としてブースを出展しました。

当日は、保育園・幼稚園、小中高の教職員、子ども食堂・放課後児童クラブ・フリースクール等の学校関係者が多数来場し、学校や地域の教育現場で活用できる出前授業や企業・団体の支援メニューを発掘すべく、熱心に各ブースで話に聞き入っていました。

当支部のブースでは、滋賀県内で精力的に活動している防災博士の協力のもと、小学生向けの実践的安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」や幼児向け防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」について、案内チラシやカードの実物を用いて、実践例や活用方法を紹介しました。幼稚園や特別支援学校、聾学校の教員から「ぼうさいダックの出前授業をぜひお願いしたい」等、出前授業の依頼や希望が多数あり、小学校教員からは、「自分のこどもとぼうさい探検隊をするのも良いですね」「授業参観日に児童と保護者が一緒にぼうさい探検隊をするのも良いですね」といった声をいただくなど、多くの来場者から関心が寄せられました。

また、高校生を主な対象とした金融経済教育教材「明るい未来へ TRY！～リスクと備え～」について、冊子や動画で紹介するとともに、「自転車事故のリスクと損害保険の役割」等をテーマとした高校生向け講師派遣についても PR しました。

当支部では、今後もリスク教育プログラムの普及促進を通じた防災啓発や、損害保険リテラシーの向上のための取組みを推進していきます。

（ご参考）当協会の各種教育メニューの詳細は、損害保険教育支援サイト「そんぽ学習ナビ」をご覧ください。

<https://www.sonpo.or.jp/education/>



ぼうさいダックについて説明



明るい未来へ TRY！について説明